

第四分科委員會報告

日時 昭和九年十月十九日午前十一時四十分

場所 東京・芝浦會館

出席

糸島實志天、白鳥宏近、内田定五郎、河合清、志村一美、蓮沼仁平、緑川勝美、細川香葉、高橋長藏、西村春太郎、飯塚編十郎、川端一三、田中治英、(伊藤信太郎代理)
 山本繁善、江副敏夫、盛田文治、松岡彌三郎、清水源治、西沢瀧、衣笠一天、東久太郎、團部若太郎、田村金藏、山本哲、福島玄、栗川忠雄、渡辺惣藏、椿繁夫、
 議長 山本繁善、書記 綿現伸博、池谷庄一、
 幹事 衣笠一天、白鳥宏近

十一時半休憩

午後一時再會(特別委員選任) 山本繁善、白鳥宏近、衣笠一天、内田定五郎、盛田文治

① アジア労働會議に関する件

(決定) アジア労働會議の内容を決定し、名実共にアジア労働運動の中心機関とならしむべし。

(経過) アジア労働會議の結成及び内容に就いての質問あり、本部兼川委員より詳細なる説明あり、意見交換が行はれた。役員の人選について「アジア労働會議の如き重要なる機関の後援には全労働階級の信頼ある現役の労働運動者を進出さすべきであるとの意見に

一致あり、本部兼川委員は「全労働階級の信頼を得るには、現役の労働運動者を進出さすべきであるとの意見に